

# 教会ってどんなところ？

## 神 と出会う

あるべき姿をみいだせます。

それはまるで、生き別れた本当の父親に出会う瞬間です。

神はあなたを世界でたった一人の特別なオンリーワンの存在として愛しています。富・能力・肩書・行い……そのようなものに一切関係なく、あなたをありのままに受け入れてくださいます。なぜなら神は点にいるあなたの父、造り主だからです。ここがあなたの居場所です。

## 救 いにあずかる

あたたかないのちが回復します

それはまるで、家出した子供が父のもとに帰り抱きしめられる感動です。

神から離れ、思うがままに生きているのが罪です。人はそれを自由とっていますが、心のなかにはねたみ、憎しみ、疑い、好色、嘘、貪欲、高ぶり…などに満たされ人知れず心疲れ、病み、行き詰まっています。救いとは罪を認め、神に立ち返るときに与えられる、許しです。

## 満 ちあふれる

確かなぬくもりの中を歩きます

それはまるで、温かく大きな手に握られている歩みです。

日曜日に教会に来て礼拝する生活は、あなたの魂と心を生き生きとさせます。それはまるで泉に植わる木のようにです。讃美歌を歌い、祈り、聖書のメッセージに耳を傾ける時、神の働きかけを受けて心は平安と喜びに満ち溢れるからです。新しく生き生きと輝く秘訣です。

### 定期集会 どなたでもおいで下さい

(日) 礼拝と学び 10:30~12:10 (水) 聖書の学びと祈祷会 19:30~  
教会学校 13:30~14:30  
夕 拝 19:30~ (金) 聖書の学びと祈祷会 10:00~

子母口キリスト教会

# チャペル通信 98号

2015年 讃美歌特集(その5) 讃美歌と唱歌②

人がその友のために命を捨てるといふ、これよりも大きな愛は誰も持ってはいません。 ヨハネの福音書15章13節

宮沢賢治も気づいていた。絶対的な人類愛は 神さまにしか出来ないのです。

7000名もの命を亡くしたネパール首都カトマンズを直撃した大地震、心が痛みます。一度に多くの人の命が失われることは筆舌に耐えがたいものですが、一人の命を失うことも耐えがたいものなのです。

この通信が届く頃は、夜空に星の輝く七夕の頃でしょう。銀河を見上げると、宮沢賢治の「銀河鉄道の夜」を思い起こす方もおられると思います。

賢治の宗教観の集大成という作品です。その中で賢治は讃美歌320番を引用しています。日蓮宗に傾倒していた賢治が讃美歌を作品に挿入するきっかけは、今から92年前に起きた関東大震災にあったと思えるのです。この時に聖歌397番「とおきくにや」が作られました。悲しい時に讃美出来るというのは、キリスト教ならではの事なのです。

このころ賢治に親しい友齊藤宗次郎がいました。「銀河鉄道の夜」に影響を与えた賢治の友人は敬虔なクリスチャンでした。「銀河鉄道の夜」の中で聖歌が挿入されている箇所は、世界最大の海難事故といわれるタイタニック号事件(1912年)をモチーフにした場面でした。その2年前、1910年に日本では12人の少年が江の島で水死した事故が起こっています。その時に作られた歌「真白き富士の根」は唱歌「夢の外」を元としています。しかしその「夢の外」は讃美歌をもとにしていました。讃美歌シリーズの最後は賢治とキリスト教をテーマに、関連した讃美歌や唱歌を紹介したいと思います。夜空に星を見上げながら、賢治が追い求めた「ほんとうの神様」を知っていただきたいのです。

〒213-0023 川崎市高津区子母口776

発行 日本同盟 子母口キリスト教会  
基督教団 e-mail shibokuchi@church.jp  
編集 牧師 小岩井 信 http://shibokuchi.church.jp/  
電話 044-766-0181 F A X 044-766-2157



# 本当の神様を追及した宮沢賢治に影響を与えた「事故」と讃美歌

## 七里ヶ浜哀歌《真白き富士の根》

- 1 真白き富士の根 緑の江の島  
仰ぎ見るも 今は涙  
帰らぬ十二の 雄々しきみたまに  
捧げまつる胸と心
- 2 ボートは沈みぬ 千尋の海原  
風も波も小さきかいな  
力も尽きはて、呼ぶ名は父母  
恨みは深し、七里ヶ浜辺
- 3 み雪は咽びぬ、風さえ騒ぎて  
月も星も、影を潜め  
みたまよ何処に迷いておわすか  
帰れ早く、母の胸に
- 4 みそらに輝く朝日のみ光  
やみに沈む親の心  
黄金も玉も何にし集めん  
神よ早く我をもめさせよ

## 聖歌623番「いつかはしらねど」

- 1 いつかはしらねど、主イエスの再び  
この世に来たもう 日ぞ待たる。  
その時、聖徒は 死よりよみがえり  
我らも栄えの 姿とならん。
- 4 その日を望みて 互いに励まし  
十字架を喜び 負い手進まん  
嘆きも悩みもしばしの忍びぞ  
楽しき栄の 姿とならん

- 1 主よ、みもとに 近づかん  
のぼる道は 十字架に  
ありともなど 悲しむべき  
主よみもとに 近づかん
- 5 うつし世をば はなれて  
天がける日 きたらば  
いよいよちかくみもとにゆき  
主のみかおを あおぎみん

宮沢賢治（1896～1933）が多感な14歳の時（1910年）逗子開成中学の12人の生徒が極寒の海で遭難しました。その時鎌倉女学校の教師であった**三角錫子**はとっさに作詞し、追悼集会で生徒に**明治唱歌「夢の外」**に合わせて歌わせました。若くして両親を失った三角錫子（**現トキワ松学園初代校長**）は4人の弟の養育のため教師を給料の高い札幌でしていたときに、キリスト教会に出入りしていました。左の4番はその雰囲気を与えています。**夢の外**はジュレマイヤ・イングルス作曲の讃美歌です。4番の歌詞の意味は**来たれ、主を愛する兄弟たちよ、主イエスの道を歩もう。**

**私たちの地上での困難・試練は、私たちが天の故郷に帰るときに私たちをさらに豊かにして下さるのだ。**

死せる若き魂に寄せる曲をこの讃美歌に託した錫子にはキリストの再臨が理解されていたのではないのでしょうか。現在教会では聖歌623番「いつかはしらねど」として歌っています。

## 無償の愛（アガペー）が賢治のテーマ

この事件では、兄が弟を小脇にしっかりと抱いた姿で発見されたのが報道されました。賢治が小学2年の時、近所の川で子供がおぼれています。助けることが出来なかった無念さが、幼い信仰心を揺さぶったのかも知れません。賢治が16歳の1912年に**タイタニック号の遭難**事件が起きました。命を惜しまず他の人の命を助けた美談は世界を驚かせました。

1922年には妹トシを結核で亡くしま

した。銀河鉄道のテーマが賢治の内に広がっていきました。

1924年初稿賢治は「銀河鉄道の夜」の中でこの事件で死んだ姉弟とその家庭教師が乗ってくる場面があります。そこに**讃美歌320番「主よみもとに」**が流れてきて、女の子がもうこの鉄道からおりなくてはという場面があります。



そこで主人公ジョバンニと家庭教師との間で「ほんとうの神様」について論争を展開しています。

実はこの家庭教師のモデルは賢治に**キリスト教の影響をあたえた齊藤宗次郎**が考えられるそうです。宗次郎の娘はヤソの子といじめられて、妹はお腹をけられ腹膜炎で死んでいます。しかし町の人につくした宗次郎は、雨ニモマケズの中に出てくる**デクノボウ**と言われる、理想の人のモデルがであったという人もいます。妹トシの死を詠じた「春と修羅」のゲラを賢治は宗次郎に見せているほどの関係でした。賢治は1923年8月に教え子の窃盗事件の後始末の故に就職あつせんのため樺太に行っていますが徐々に無償の愛（アガペー）をしめす行動に接近しているのかも知れません・この休み明けに**関東大震災**が起きました。

## 関東大震災の時に作られた聖歌

9月1日の夜、多くの被災者が芝白金の**明治学院**の運動場で夜を迎えました。たまたま東京にいた**宣教師のJ. V. マーティン**が見舞いにやってきた時、かやの中に光るろうソクの灯がちょうど十字架にみえたので、急いでペンを走らせこの詩を作りました。その後大阪に戻って曲を作ったそうです。その後中田羽後が訳し横浜のYMCAで初演されました。マーティンは大阪市立高等商業学校(現大阪大学)の英語教師でした。

CD付きメッセージ **永遠のふるさと**福音歌手の森 裕理さんの唱歌ふるさとが聞けます。はがきで教会に申し込み下さい。郵送します。

## 聖歌 397番

- 1 遠き国や海の果て  
いづこに住む 民も見よ  
なぐさめ持て変わらざる  
主の十字架は輝けり  
なぐさめもて ながために  
なぐさめもて ながために  
揺れ動く地に 立ちて  
なお 十字架はかがやけり

プレゼン  
トします。

